

ウ 広地域カリキュラムの自校化を図っている。

※ 「ウ」と回答した場合は、次の①～③の3つの中から、最も近いと思われるものを1つ選んで下さい。

ウの① 時数の修正程度にとどまっている。

ウの② 単元・題材等の組みかえと時数の修正程度にとどまっている。

ウの③ ねらい・活動内容等まで検討を加えている。

エ 学習指導要領・教科書及びその他の参考資料をもとに、独自の指導計画を作成している。

カ その他

	ア	イ	ウ①	ウ②	ウ③	エ
国 語	3	8	8	62	14	5
社 会	3	6	17	58	10	6
数 学	3	10	10	54	17	6
理 科	3	3	16	54	16	8
音 楽	6	3	8	66	11	6
美 術	3	6	8	63	14	6
保 体	3	3	8	66	14	6
技・家	3	6	11	63	11	6
英 語	6	6	11	55	14	8
道 徳	3	8	8	48	25	8
特別活動	3	8	11	45	22	11

(2) あなたの学校の先生方の年間指導計画の活用状況について、下の項目の中から最も近いものを、それぞれ1つ選んで下さい。
N=36 (100%)

ア よく活用されている。

イ 活用されている。

ウ どちらともいえない。

エ あまり活用されていない。

オ 活用されていない。

カ その他

	ア	イ	ウ	エ	オ	カ
各 教 科	19	64	17	0	0	0
道 徳	14	61	19	6	0	0
特別活動	11	67	16	6	0	0

問2 週指導計画(週案)に関する事について、次の各問に回答して下さい。

(1) 週案の記載と活用の実際について、あなたの学校の先生方の一般的な傾向と思われるものを、次の中から該当するものを選んで下さい。
N=36 (100%)

ア 指導の実際にかされている。 14

イ 目標の把握にかされている。 11

ウ 時数の管理にかされている。 38

エ 進度の調整に役立っている。 34

オ 提出するためのものとなり、記載するだけにとどまっている。 3

カ あまりよく記載されていない。 0

キ ほとんど記載されていない。 0

ク その他 0

(2) 週案は、次時や次年度の指導計画の改善に役立っていますか。あなたの学校の先生方の一般的な傾向と思われるものを、次の中から1つ選んで下さい。
N=36 (100%)

ア 意図的・計画的に反省・評価が加えられ、指導法や年間指導計画の改善に役立っている。 17

イ 反省・評価はされるが、指導法や年間指導計画の改善までは結びつかない。 75

ウ 実施されたままとり、役立っていない。 8

エ その他 0

(3) 週案が指導の実際にかされないとしたら、それは主に何によると思われますか。・印を付して箇条書きして下さい。
(別表1参照)

問3 授業時数の削減によって生まれた時間に関する事について、次の各問に回答して下さい。

(1) 授業時数の削減によって生まれた時間の活用状況について、次のア～クの中から、該当するものを1つ選んで下さい。
N=36 (100%)

① 学校の創意を生かした教育活動

② 休憩や給食時間の増加

③ 特別活動(学級会活動、クラブ活動、及び学級指導)の時間の増加

ア ①のみ 0

イ ②のみ 0

ウ ③のみ 0

エ ①と②の組合せ 25

オ ①と③の組合せ 25

カ ②と③の組合せ 3

キ ①と②と③の組合せ 47

ク その他 0

(2) 創意を生かした教育活動と教育目標や重点目標との関連について、最も近いと思われるものを、1つ選んで下さい。
N=36 (100%)

ア 教育目標や重点目標の達成をふまえた教育活動を計画し、実施している。 33

イ 教育目標や重点目標の達成をめざそうと努めるが、実際には活動しやすい教育活動を計画し、実施している。 50

ウ 教育目標や重点目標の達成をめざす計画は樹立しているが、実施の段階では、計画とのかけはなれがみられる。 11

エ 教育目標や重点目標の達成をあまり意識しないまま、計画し、実施している。 6

オ その他 0

(3) 「創意を生かした教育活動の時間」の活動内容について、該当するものに○をつけて下さい。
N=36 (100%)

ア 教育相談に関する活動 14

イ 体力増強のための活動 13

ウ 勤労体験に関する活動 12

エ 表現・鑑賞に関する活動 4

オ 野外の自然や地域の文化に関する活動 4

カ 生徒会に関する活動 9

キ 集団行動の訓練に関する活動 8

ク 集会(学年・学級)に関する活動 14